

伊根町地域の危険度マップ

地域の危険度マップは、地震による揺れによって発生する建物被害の状況を、相対的に表したもので、「揺れやすさマップ」で示した最大の揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表しています。

大きな地震が発生すると建物が倒壊し、家具の下敷きになるなどの被害が生じます。また、道路や電気、ガス、水道などのライフラインの寸断、火災の発生など、大きな被害に発展する恐れがあります。大きな地震から人命や財産を守るためには、住宅などの耐震化が必要です。

非常持ち出し品のチェック

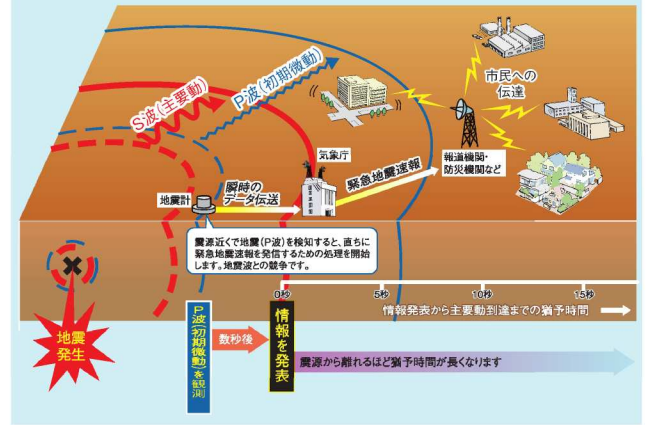


避難後の生活必需品として、米・おかず（レトルトも便利）、缶詰などの食料品や飲料水（ペットボトルに貯蔵）、卓上コンロ（ガスボンベ）、毛布や寝袋、バケツ、洗面用具、携帯トイレなどを用意しておく（最低3日分）

緊急地震速報のしくみ

緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域の名前を強い揺れが来る前にお知らせするものです。

○「緊急地震速報」は、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。
地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、素早くお知らせします。
○ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。



出典：「緊急地震速報～10月スタート～」リーフレット、気象庁

災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルの利用方法

地震や洪水などの大災害発生時は、電話がつかない状況が1日～数日間続くことがあります。

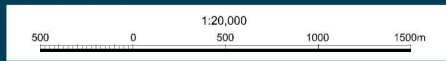
このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。これは「声の伝言板」（安否情報）の役割をする電話サービスです。被災地内やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生をすることができます。

録音する場合

171 → 1 → 自分の家の電話番号（市外局番から） → 伝言の録音

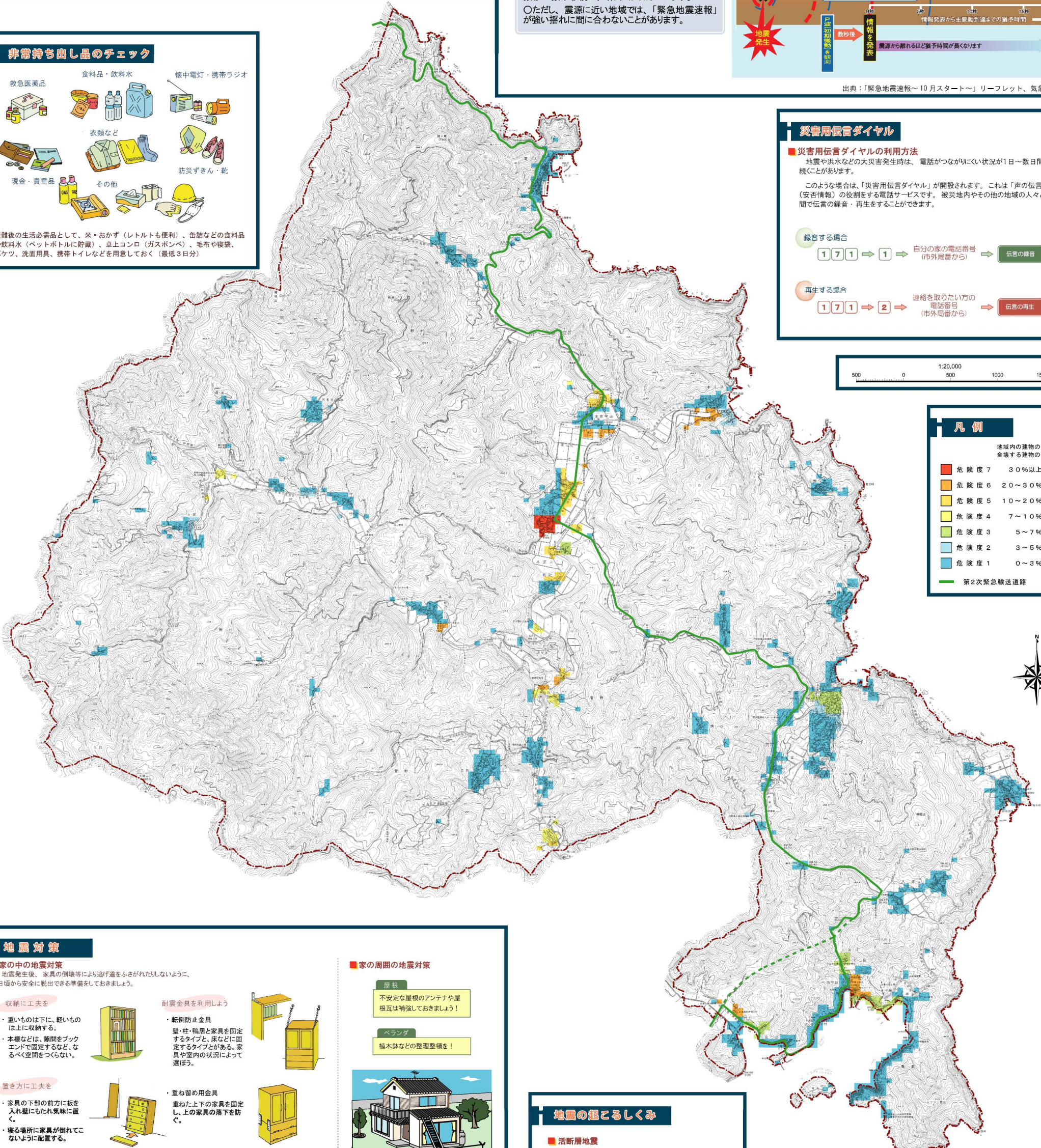
再生する場合

171 → 2 → 連絡を取りたい方の電話番号（市外局番から） → 伝言の再生



凡例

地域内の建物の中で、全壊する建物の割合	
危険度 7	30%以上
危険度 6	20～30%
危険度 5	10～20%
危険度 4	7～10%
危険度 3	5～7%
危険度 2	3～5%
危険度 1	0～3%
第2次緊急輸送道路	



地震対策

家の中の地震対策

地震発生後、家具の倒壊等により逃げ道をふさがれたりしないように、日頃から安全に脱出できる準備をしておきましょう。

収納に工夫を

- 重いものは下に、軽いものは上に収納する。
- 本棚などは、隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間をつくらない。



耐震金具を利用しよう

- 転倒防止金具
壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプがある。家具や室内の状況によって選ぶ。



置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に板を入れ壁にもたれ気味に置く。
- 寝る場所に家具が倒れてこないように配置する。



重ねるための金具

- 重ねた上下の家具を固定して、上の家具の落下を防ぐ。



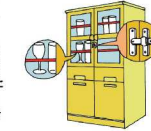
落ちる危険のあるものは置かない

- テレビはできるだけ低い位置に固定しておく。
- 家具の上に落ちる危険のあるものを置かないように。



扉・引き出し開放防止金具

- 扉・引き出しが開かないようにする。
- さらに、収納物の落下を防止するために、棚板に滑り止めのふきんなどを敷いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止棒をつけるとう安心です。



照明器具の補強を

- 天井に直接取り付けタイプの照明が安全。
- つり下げ式のもの、鎮と器具を使って数か所留めて補強する。
- 蛍光灯は蛍光管の落下を防止するため、両端を耐熱テープで留めておく。



ガラスの飛散防止対策を

- 食器棚や額縁などに使われているガラスにも飛散防止フィルムをはっておこう。



家の周囲の地震対策

屋根

- 不安定な屋根のアンテナや屋根瓦は補強しておきましょう！

ベランダ

- 植木鉢などの整理整頓を！



窓ガラス

- 飛散防止フィルムを貼りましょう！

ブロック塀・門柱

- ブロック塀・門柱はしっかり点検補強をしておきましょう！

プロパンガス

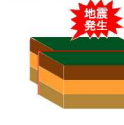
- ボンベをしっかり鎖で固定しておきましょう！

地震の起こるしくみ

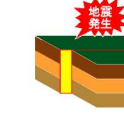
活断層地震

地下の岩盤に、押し合う力や引っ張り合う力が加わることで内部にひずみのエネルギーがたまり、これが限界に達したときに、ある面（断層面）を境に地盤がずれ動き、地震が起こります。

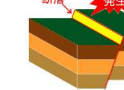
右横ずれ断層



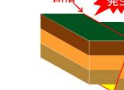
左横ずれ断層



正断層



逆断層



海溝型地震（プレート境界型）

海側のプレートが陸側のプレートの下にもぐりこむことで境界にひずみのエネルギーがたまり、これが限界に達したときに、プレートがもどろうとしてはね上がり、地震が起こります。

